

「特集」

美術博物館特別展

「城下町飯田と飯田藩」



コンピューターグラフィックスによる飯田城
想定復元図の一部(現在の追手町付近)

城下町飯田のシンボルだった飯田城。
明治維新で徹底的に破壊されてしまいましたが、
実は、町のあちこちにその面影が残っています。
特別展の展示資料をもとに探してみましょう。

美術博物館特別展

「城下町飯田と飯田藩」

9月23日(祝)
11月6日(日)

1970年代に「私の城下町」という曲がヒットしました。その曲の舞台は飯田ではありませんが、飯田もかつては城下町として栄えてきた町です。

今年、堀親昌(図1)が藩主として、下野烏山(栃木県那須烏山市)から飯田入りして350年。また、城下町の基礎を築いた京極高知の没後400年の節目です。

美術博物館では、特別展を開催し、城下町飯田の成り立ちから人々の暮らしぶりや、飯田大火からの復興を契機に近代的な防災都市へと再生した様子などを紹介します。



【図1】 堀親昌像《長姫神社蔵》

展示の見どころ

地図に注目

飯田の町は、飯田城とその城下町の建設時から歴史の表舞台に出てきます。その建設や領内を把握するために作られた当時の絵図や地図をたくさん展示します。絵図を見て、町の移り変わりに注目してみてください。



飯田城絵図《下伊那教育会蔵》

お殿様のお宝に注目

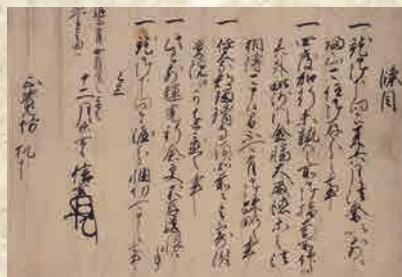
飯田藩を200年にわたって治めた堀家第一の宝物は「千鳥香炉」です。徳川將軍家から拝領し、2つあった可能性があります。今回はその内の一つ、埼玉県の遠山記念館が所蔵する香炉「浦千鳥」が里帰りします。



青磁香炉「浦千鳥」《埼玉・遠山記念館蔵》

有名人の古文書に注目

武田信玄をはじめ、歴史上の著名人の史料が並びます。歴史好きには心躍る展示となるでしょう。



武田信玄條目《瑠璃寺文書》

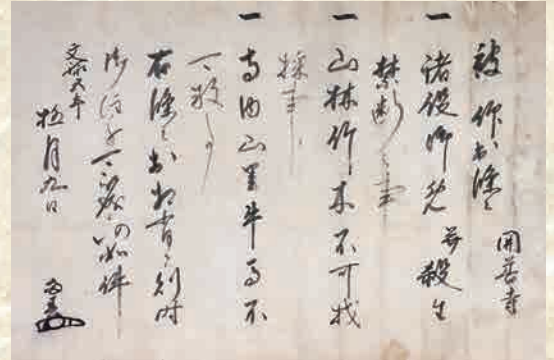
時代背景

特別展では、戦国時代から昭和22年(1947年)の飯田大火まで、城下町飯田の400年にわたる長い歴史を振り返ります。

戦国時代 群雄割拠の時代



戦国時代には、武田信玄や織田信長などの有力武将たちが飯田を中心とする伊那郡の支配を巡って争い、めまぐるしく領主が交代しました。豊臣秀吉が天下統一を果たし、配下の毛利秀頼や京極高知らが飯田城に入ると、上方文化の影響を受けながら城下町が整備されていきました。



領内の統制を図った京極高知禁制《開善寺文書》

江戸時代 幕藩体制下の飯田藩



徳川家康によって江戸に幕府が開かれると、飯田藩は小笠原秀政(五万石)、脇坂安元(図2)・安政(五万五千石)と、藩主が交代します。寛文12年(1672年)に堀親昌が飯田入りしてからは、明治4年(1871年)の廃藩置県までおよそ200年間にわたり、堀家の治めるところとなりました。この間、

豊臣時代に十万石あった飯田藩の石高は二万石弱にまで縮小しましたが、飯田の町は東西南北の街道が交わる地の利を生かし、流通と経済の拠点としてにぎわいました。二万石の小藩でありながら、経済的な豊かさに支えられた飯田の町には、さまざまな人やモノ、情報が集まり、町人を中心に洗練された文化が花開きました。

明治維新により、飯田藩と飯田城の歴史に終止符が打たれます。財政難のため土地や建物を含む藩の所有物はことごとく解体・売却されました。飯田城が廃城になると、その跡地利用を含めて近代的なまちづくりが始まりました。飯田大火が、かつての城下町の面影を残した景観を焼き尽くしました。これを機に飯田の町は防災都市へと変貌し、現在に至る景観が形作られていきます。

明治以降 飯田城の廃城以後



【図2】 脇坂安元像《個人蔵》

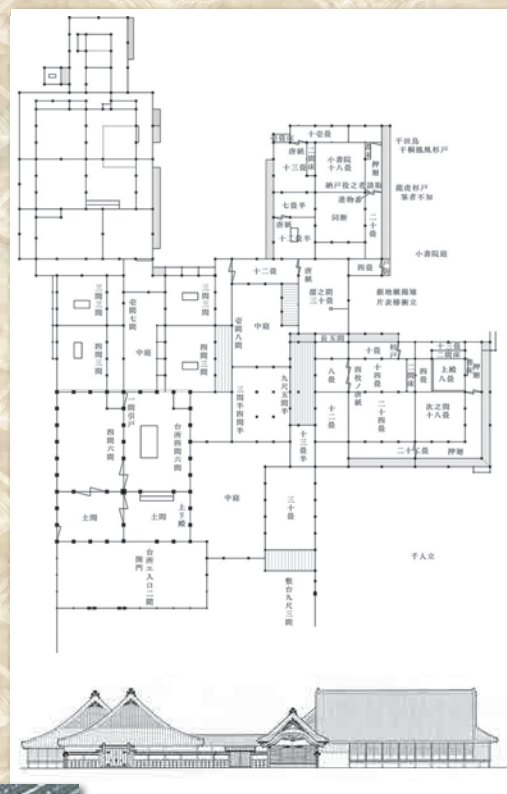
飯田城主の変遷	
西暦	飯田城主
不明(室町時代)	飯田城主
1554	坂西氏
1562	跡部定勝
1575	秋山信友
1582	保科正直
1583	下条頼安
1590	下条氏長
1593	菅沼定利
1601	毛利秀頼
1613	京極高知
1617	小笠原秀政
1633	(幕府管理)
1672	脇坂安元
1673	脇坂安政
1686	堀親貞
1697	堀親賢
1715	堀親康
1728	堀親茂
1746	堀親長
1779	堀親定
1784	堀親民
1796	堀親実
1845	堀親義
1868	堀親広

城下町探訪

美術博物館では、飯田城と城下町の復元を試みました。城下町の痕跡を見つけるのは簡単ではありませんが、復元資料を見ながら、説明を聞きながら現地を歩くと、その面影が残っていることがわかります。



現在の地図と飯田城下町図



飯田城本丸復元図

現存するいくつかの絵図面をもとにして復元を試みました。地形を活かした城郭であることがよくわかります。

飯田城CG再現



京都の二条城
みたいだね。



特別展に合わせて開催！

城下町見学会

- ❖日時 10月2日(日) 9:30～
- ❖案内 城下町サポーターの皆さん

※申込方法などの詳細は美術博物館にお問い合わせください。



現地見学会は、学校や学習グループ向けにも随時開催できます。ご希望の際はお問い合わせください。

「城下町サポーター」が
デビュー！

飯田下伊那の一般の皆さんで構成する「城下町サポーター」が見学会や特別展の解説を行います。



そのほかの関連イベント

特別展期間中、次の講座・見学会の実施を予定しています。いずれも事前予約制です。特別展チラシまたは美術博物館ホームページをご確認の上、お申し込みください。

また、美術博物館となりの長姫神社でも、ご神体としておまつりされている堀親昌公の木像が10月15日(土)、16日(日)に特別公開されます。

特別講演会

- ❖演題 結構なる城地 ― 堀家飯田藩と城下町飯田 ―
- ❖日時 10月15日(土) 13:30~
- ❖講師 吉田伸之 (飯田市歴史研究所所長、東京大学名誉教授)

連続講座

- ❖演題 城下町飯田と飯田藩
- ❖日時 11月3日(祝) 13:30~
- ❖講師 伊坪達郎さん (松川町資料館学芸員、美術博物館評議員)、
下平博行 (飯田市文化財保護活用課)、青木隆幸 (美術博物館専門研究員)

展示解説

- ❖期日 11月3日(祝)、6日(日)
- ❖案内 城下町サポーターの皆さん



当時のまま残っている
水の手御門跡の石垣



● 問い合わせ / 美術博物館 ☎0265(22)8118 (受付時間9:30~17:30)

HP 飯田市美術博物館

🔍 検索



◆ 鼎村(当時)に疎開して
いたころの岸田國士

(昭和21年11月
『山居讀書人』出版記念会)

作家・小説家の岸田國士きしだくにちあ(1890~1954)は、「飯田の町に寄す」という詩を通じ、飯田の町とそこに暮らす人々の風采品格を的確に描き讃えました。

かつての趣ある城下町の景観は大火によって失われました。しかし、各所に残る城下町の面影や遺物、四季折々の行事に興じる人々の暮らしぶりなどからは、都市の風格を感じられます。

「私たちの城下町」として、今回の特別展をお楽しみください。

南信州・飯田フィールドスタディ 飯田の特長を現地で学ぶ



飯田の未来を市長が語る

このフィールドスタディは県内外の大学生を対象に、まちづくり活動に携わる皆さんと直接対話する場を設け、その活動の様子を現地で見聞きしながら、「まちづくりとは何か」を考える学習プログラムです。

飯田市と大学関係者などとのネットワーク「学輪IIDA」が企画し、8月9日から同12日まで、11名の大学生が参加しました。



住民とまちづくりの関わりを現地で学んだまち歩き

災害時応援協定締結 物資の貯蔵や配送に



協定書を交わした佐川急便信越支店の外山智支店長(写真右)

市は8月4日、災害時、食料品や生活必需品など支援物資を安定的に確保できるよう、佐川急便株式会社と協定を結び、物資の保管場所の提供や避難所への配送に協力を得られるようになりました。

飯田市消防団協力事業所 新たに表示証を交付



「地域を支えていけたら。」と表示証を手に原社長(写真中央)

市消防団は7月25日、消防団員の従業員が勤務時間中でも出勤しやすい環境づくりを進める「消防団協力事業所」として、株式会社原鉄(大門町)を新たに認定し、29事業所目となりました。



津田塾大学と連携 飯田水引の魅力発信

関島水引店の関島正浩さんが技を伝授

高齢社会の中で車椅子の需要が高まり、その装飾性を高めようと、津田塾大学の地域連携推進センターと市は、車椅子の車輪部分を彩る、飯田水引を使った車椅子スポークアクセサリーの共同開発に取り組んでいます。

その取り組みの一環で、学生10名を含む同センターの皆さんが7月15日から3日間、飯田で商品化に向けた打ち合わせや水引の技を学び、飯田水引への理解を深めました。



共同開発に取り組む皆さん

反核平和の火リレー 核や戦争の根絶を願う



原爆の残り火をともしたトーチが県内全市町村を巡る



要請書を読み上げる下伊那地区の米山祐貴実行委員長
7月13日に松本市からスタートした「反核平和の火リレー」が8月5日、飯田下伊那へ引き継がれました。飯田市役所で歓迎セレモニーが行われ、平和な社会の実現を目指す長野県平和友好祭実行委員会によって要請行動が行われました。

現代版 養生訓

がんについて



消化器外科
ふくどめ いあん
福留 惟行 医師

日本人の二人に一人は

「がん」になり、今や三人に一人は「がん」で亡くなる時代になりました。そのような中で最近、特に「大腸がん」になる方が増えており、今回はその大腸がんについてお話しします。

女性の14人に1人、男性の11人に1人が、大腸がんと診断されています。また、女性では、がんによる死亡数の第1位が大腸がんとなりました。

大腸がんの症状は「便に血が混じる・便が細い・便が残る感じがする・お腹が張る」などがありますが、これらはがんが進行した段階での症状であり、初期の段階では自覚症状はほとんど

ありません。

そこで重要なのががん検診です。ご自分の便を取って便潜血検査を受けるという簡単な検診で、大腸がんの死亡率は60〜80%下がると言われています。

大腸がんの治療は主に手術によるがんの切除ですが、現在は「腹腔鏡手術」が可能で、お腹を大きく切ることなく手術ができるので体への負担が少なく、約10〜14日程度で退院できます。

腹腔鏡手術とは、腹部に1cm程度の穴を5〜6カ所あけて、細いカメラとはさみなどの手術道具を挿入して行う手術で、カメラの拡大視効果によって、丁寧に

安全な手術が可能です。私は今年から飯田市立病院で勤務しており、この腹腔鏡手術を専門としていますので、今後さらにこの分野に力を入れてまいります。

最後に、大腸がんは、初期であれば90%以上が完治します。皆さんにはぜひ検診を毎年1回受けていただくことをお勧めします。



飯田市立病院
〒395-8502 飯田市八幡町438
TEL.0265-21-1255

Vol.0020

市長室から

市長 佐藤 健

今そこにある危機



タイトルからロシアのウクライナ侵攻や安倍元総理の狙撃事件を思い浮かべた方もいるかもしれませんが、ここで書きたいのはそれらではありません。

7月中旬からの急激な「第7波」の感染拡大、感染警戒レベルの引き上げにより、人形劇フェスタも飯田りんごんも中止を余儀なくされました。

それぞれの実行委員会です。「レベル5になったら中止」と予め決めていたこととはいえ、開催に向けて準備をしていた関係者の皆さんにとっては断腸の思いであり、楽しみにしていた市民の皆さんも残念に思ったことでしょう。

一生懸命準備してきたことが、コロナ感染拡大という外的要因で中止や延期になる、これが繰り返

返されたこの3年間に、どれだけ多くの「がっかり」があり、どれだけ多くの人がモチベーション（やる気）を奪われたことか。「もういいや」という思いがまん延してもおかしくありません。

コロナ禍の活動自粛の中で地域社会が死んでしまっているのか、そんな危機感を覚えています。

行事やお祭りをやるかやらないか、市民の皆さんの中には、慎重派・積極派どちらもいらっしやると思います。関係者の皆さんが本当に悩みながら苦渋の決断をしておられることに思いを馳せ、その結果については温かく受け止めていただければと思います（やるにせよ、やらないにせよ）。

私の危機感が杞憂（きゆう）に終わることを祈りつつ。

番外編

学びの宝庫、飯田

～ 高校生からのメッセージ ～

No.92

遠山郷フィールドスタ ディの事前学習会から

下伊那農業高校3年

脇田 拓帆さん (飯田市)

3回の事前学習の中で1番印象に残ったのは「文化資源を知ろう」というお話です。南信濃地区は人口減少や高齢化率が高い中、地元の方が何とか学校を残したいとの思いから、小規模特認校である上村小学校では学校運営に地域の方が参加したり、地区の運動会と小学校・保育園の運動会を一緒に行ったりしていることにとっても驚きました。

また、伝統文化である「遠山の霜月祭」を大切にし、中学校では文化祭の中に「郷土の舞」があり、お祭りについて学習し、将来自分がどのようにお祭りを盛り上げていくのかを考えるきっかけにしていることも、伝統を繋ぐ第一歩になっていると感じました。

また、発表をしてくださった公民館主事のお二人がスライドを75枚も作ってくださったり、お祭りの舞を実際に見せていただいたりして、その熱さを感じました。県外に出ていった若者がUターンで地元遠山に戻ってきていることを知り、本当に愛されている地域だと感じ、自分もそんな遠山について少しでも知り伝えられる一人になりたいと思いました。



事前学習会の様子



先月の
牧内秀子さん(川路)
からのリレー



今がんばっていること

久保田 守道さん (三穂)

我が家は、妻、高2長男、中1次男と小2長女の5人家族です。

妻は介護職のため、土日関係なく働いています。そのため土日は、子どもたちの部活の送り迎えや、お昼ご飯の準備・片付けをしたり、洗濯物や小2の子と遊んだり、忙しくも楽しく、家事と子育てを頑張っています。

長男が生まれてから、ずっとやってきたことですので、当たり前になっている部分もあるかもしれません。

平日は私が残業で帰宅が遅いことが多く、妻が頑張ってくれています。仕事で疲れているのにもいつもありがとう。そして、私と妻を困らせたり、笑顔にしてくれたりする子どもたちにもありがとう。

毎月市民の皆さんに、

- ① 私の健康法 ② 感動したこと ③ 今がんばっていること ④ まちづくりへの提言
以上の項目から選んで語っていただき、次の方にボタンタッチする「リレートーク」です。次はあなたの番かも…



松本あやねさん
(追手町小学校6年)

保育士になること

私の夢は、保育士になることです。

私がなぜ保育士になりたいかというと、小さい子のお世話をしたり、一緒に遊んだりすることが好きだからです。

今、私は保育士になるために、下級生の1年生に対して優しく接して仲良くなるようにしています。

私は、小さい子と仲良くなりたいたときは、優しく声をかけたり、同じ目線になるように気をつけたりしています。

いつか、皆から好かれる保育士になりたいです。